

茨城県市議会議長会第1回議員研修会に参加して

- ◆視察日 令和4年11月21～22日
- ◆議員 島田清一郎・長津 智之・香取 憲一
 戸田 見良・真家 功・山崎 晴生
- ◆研修先 筑西市ダイヤモンドホール
 ザ・ヒロサワ・シティ

初日の研修では、直接選挙された首長（知事や市町村長）と議会議員の、2元代表制の在り方について、地元筑西出身の常磐大学総合政策学部法律行政学科長吉田勉教授より講演をいただきました。講演の内容は、首長が頑張ると、負けず議会も頑張るという構図の二元代表制の在り方や議会の存在意義・住民の意見やアイデアを吟味して自らの生活や行政参画に役立てる道について、最近の自治体議会事業を踏まえて語られました。また、この二元代表制を機能させるための提案などもあり、議会の存在意義について改めて再認識いたしました。その後、29市町村の議会議員・事務局のみなさんと交流会を行い各地域の課題やまちづくりの情報交換を行い、議員メンバーの更なる意識向上につながるひと時となりました。



2日目は、美術館や博物館をはじめゴルフ場・バーベキュー場・体験農場など多数の展示施設やレジャー施設などをもつザ・ヒロサワ・シティに視察研修しました。人寄せのできる環境づくりの面で、それぞれの分野の楽しみ方を体感してきました。まちづくりのアイデンティティを高めて小美玉市に当てはめた時、何ができるのかなど、考えさせられました。



研修視察を通して

議会は市で予算化された政策に対して住民感覚を踏まえた論理で修正を迫ったり、議員間で自治体や政策の在り方を徹底的に議論し、その道筋や方針を発信しつづける基盤になることが大切なことなど多くを学びました。今後も、研鑽に励むことを感じた研修となりました。



編集後記

どのような新年をお迎えしましたでしょうか。茨城の誇る名所・霞ヶ浦から昇る初日の出は、眺望の良さから近年人気スポットとなっています。なかでも、玉里地区にある大井戸湖岸公園から臨む初日の出は格別です。今年も、天候にも恵まれ、この大井戸湖岸公園から玉里太鼓の響きのなかで拝むことが出来ました。昨年、ウクライナでの戦争、急激な円高、さらには物価高騰と、「寅」が大騒ぎしましたが、今年、卯年です。うさぎは、穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」。また、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。他にも「植物の成長」という意味もあり、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。

今年一年が市民の皆様にとって良き年になることを願っています。

鈴木 俊一

- 発行編集責任者
 議長 荒川 一秀
- 委員長 植木 弘子
 副委員長 戸田 見良
- 委員 鈴木 俊一
 委員 島田 清一郎
 委員 長津 智之
 委員 香取 憲一
 委員 真家 功

◆ 68号の表紙 二十歳のつどい・霞ヶ浦湖畔から見る初日の出（撮影者：齋藤友幸さん）

